

## 第6回建築における空気質・換気・省エネルギーに関する 国際会議（IAQVEC 2007）論文募集のお知らせ

2005年に7年間の交渉を経て京都議定書が発効され、地球温暖化ガスの排出削減に有効な手段を講じることが急務となっています。この為、温暖化ガスの主要な排出源である建物の設計・建設・管理等を見直す時期が迫っています。

IAQVECは、建物の設計から管理まで総合して取り組むための国際会議です。6回目となる今回は、建物のIAQ、換気及び省エネルギー分野における最新の研究成果を提供するとともに、個人的な議論や情報・アイデア・成果の交換の機会を設け、シックハウス症候群に関する室内空気や換気技術について集中した議論を行います。

歴史と杜の都仙台で開催されるIAQVEC 2007への参加を組織委員会一同御待ち致しております。

主催：東北大学

共催・後援・協賛：日本建築学会、空気調和・衛生工学会、室内環境学会、他

会期：平成19年10月28日（日）～31日（水）

会場：仙台国際センター（J R仙台駅から西へ2 km、〒980-0856 仙台市青葉区青葉山）

T E L : 022-265-2211, 022-265-2450

F A X : 022-265-2485

<http://www.sira.or.jp/icenter/en/>

### テーマ

1. 室内環境と健康への影響
2. 汚染物質と発生源
3. 換気に対する要求と手法
4. 革新的な換気・空気清浄システム
5. 快適性の評価と室内環境
6. 湿気伝達と結露防止
7. 空調システム
8. 屋外環境の室内空気質への影響
9. システム制御および建物管理
10. 省エネルギーと環境形成
11. 設計・数値計算ツールの開発
12. サステナブルデザイン
13. 革新的な技術と解決法
14. 設備管理とメンテナンス
15. 政策と法的問題

言語 会議での公式言語は英語ですが、一部のセッションでは同時通訳が入ります。

概要の投稿数：350題（30カ国）

スケジュール（変更になりました）

概要の提出

2006年12月31日

（提出締め切りは過ぎておりますが、提出をご希望の方は事務局までお問い合わせ下さい）

概要の受理通知	2007年2月28日
論文の提出	2007年5月10日
論文の受理通知	2007年6月1日
論文の最終版の提出	2007年6月30日
早期割引の登録期限	2007年6月30日

#### 招待講演者（案）

- 1) Shuzo Murakami 「Sustainable Environment」
- 2) Richard de Dear 「Adaptative HVAC」
- 3) Jan Sandell 「Ventilation and Respiratory Disease」
- 4) David Miller 「Pollutant Transportation」
- 5) Qingyan Chen 「Ventilation and Energy」
- 6) Francis Allerd 「Energy Conservation and Building Performance」
- 7) Fariboltz Haghghat 「Pollutant Emission」

#### 展示会

展示会も同時に開催致します。希望される産学官の企業・機関の方は御問合せ下さい（sendai\_houjin202@jtb.jp）。日本語版のPDF資料も用意して居ります。

#### テクニカルツアー（見学先候補）

1. 東北電力：研究所（環境試験室，自然環境試験室）
2. 北洲ハウジング：ゼロエネルギー住宅
3. メディアテーク
4. 安井設計工房：再生民家
5. スモリ工業：体験型住宅展示施設（ハウススタジアム）

#### 問い合わせ先

IAQVEC 2007事務局

東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻

〒980-8579 仙台市青葉区6-6-11-1202

T E L : 022-795-7884 F A X : 022-795-7886

E-mail : iaqvec2007@sabine.pln.archi.tohoku.ac.jp

<http://www.iaqvec2007.org>